

## びわこ文化公園都市将来ビジョンの推進について

### 1 「びわこ文化公園都市将来ビジョン」の取りまとめ(平成24年8月) 【ビジョンの概要】

- ・ これまでのゾーニング(びわこ文化公園都市基本計画)をもとに施設整備を行ってきた「土地利用」の観点から、整備、蓄積された施設・機関が相互に機能を高め合う「機能連携」の観点へ
- ・ 地域や県民、企業、団体等と連携しながらまちとしての熟成を図る
- ・ 5つの将来像の設定
  - 「交流」県内外の人が交流
  - 「創造」文化・芸術を創造
  - 「挑戦」未来成長へ挑戦
  - 「紡ぐ」歴史と暮らしを紡ぐ
  - 「支える」いのちと健康を支える
- ・ ビジョン実現のための推進力となる「県・市推進調整会議」(県、大津市、草津市)の設置および、  
立地25施設連携のための「施設連携協議会」の設置を提案

### 2 ビジョンの推進について

#### ○県・市推進調整会議の開催

- ・ 取組計画(今後5年間の短期的取組)の作成・・・(別添資料)  
⇒ 県、大津市、草津市および立地25施設の事業を取りまとめ、取組状況を見える化。今後は、新たな取組を加えるなど毎年内容を見直し
- ⇒ 短期的な課題解決に向けた検討(県、大津市、草津市の共通の課題として設定)
  - ・ 既存公共交通機関を中心とした交通アクセスの改善に向けた検討
  - ・ 地域住民やNPO、大学等との連携に向けた検討

#### ○施設連携協議会の開催

- ・ 立地25施設・機関で連携に向けて取り組むことを確認  
⇒ 各施設の事業計画、連携意向の情報共有により、文化ゾーン内や福祉ゾーン内の連携のみならず、分野を超えた横断的な施設間の連携・協力を促進

#### ○ビジョン実現のための中長期的取組の検討

- ・ ビジョン実現に向けての中長期的な取組の具体化に向け、専門家、有識者等の知見を得ながら、調査研究を実施予定


# びわこ文化公園都市将来ビジョンの実現に向けた取組(取組計画)

将来像	県内外の人々が交流 ◎子どもからお年寄りまでの県内外の人々、生徒・学生、世界の人々(留学生、滞在外国人、訪問者等)が集い、つながるエリア ◎施設や県民、NPOなどによる多彩で魅力ある取組が催されるエリア						
取組の方向性【短期】	1 立地施設や森林などの自然資源を活かした幅広い県民の利用や参加を促進する取組の実施						
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○各種ボランティア団体等のコンサートや講演の実施	・ボランティアをはじめ、多くの県民に図書館ロビーや六角広場を活動ステージとして提供する。	(継続実施)					県立図書館
○草津養護学校秋まつりの開催	・地域に開かれた養護学校の取組の一環として、学校施設を利用したイベントを毎年開催する。	●秋まつり (継続実施)					草津養護学校
○障害のある人ない人の交流	・夏まつり、障害者週間感謝のつどい、水泳記録会、軽スポーツの定例会などを実施する。	(継続実施)					県立障害者福祉センター
○地域であそぼう	・びわこ文化公園内「わんぱく原っぱ」にて、年1~2回開催する。 (親子で触れ合ったり、身体を動かしたり、いろいろな自然を活かしたりして遊ぶ。) (地域でのあそび場を知り、季節を感じる遊びを親子で楽しむと共に、参加者同士の交流を図る。)	(継続実施)					大津市
○歯科技工士専門学校 学校祭「宵二祭」の開催	・学校活動の一環として、学校施設を使用したイベントを開催する。	●宵二祭 (継続実施)					歯科総合センター内 歯科技工士専門学校
○「若鮎祭」(滋賀医科大学学園祭)の開催	・地域の方や幅広い年齢層の方たちに参加していただけるよう、ふれあい動物園やフリーマーケット、美容ブースなどを用意し実施する。	●「若鮎祭」の開催 (継続実施)					滋賀医科大学

各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○オープンキャンパス（滋賀医科大学）の開催	・映像での大学の概要の紹介や、入試情報、カリキュラムの説明を行い、また希望者を対象に学内の施設見学を実施する。			●オープンキャンパスの開催 (継続実施)			滋賀医科大学
○高大連携事業等の実施	・スーパーサイエンスハイスクール（SSH）への連続講座や特別実習を実施する。 ※H23実績（コアSSHに指定されている虎姫、膳所、守山、石山、安曇川高校を対象に実施）			(継続実施)			滋賀医科大学
○龍谷大学農学部（仮称）の新設による近隣農業団体等との連携	・実習農地を中心に地域の農業団体や農業従事者との交流を図る。			●農学部（仮称）の設置 ●農業団体、農業従事者との交流			龍谷大学
○龍谷大学瀬田キャンパス隣接地の利用（びわこ文化公園都市区域に隣接の龍谷大学所有の土地〈38ha〉）	・環境教育や里山研究センターの研究フィールドとしての継続およびRECコミュニティカレッジ等における地域住民を対象とした里山の生態や保全活動等の体験学習に役立てる。			●体験学習等の実施 (継続実施)			龍谷大学
○夕照コンサート	・龍谷大学瀬田ドームにおいて、毎年8月最終土曜日に龍谷大学吹奏楽部と近隣小中高校吹奏楽部との合同コンサートを実施する。（1993年より継続実施。来場者数は約3,000人）			●夕照コンサートの実施 (継続実施)			龍谷大学
○学園祭（龍谷大学）および理工学部研究室公開	・学生実行委員会や理工学部の学生が中心となり、地域に開放して実施する。			●学園祭および理工学研究室公開 (継続実施)			龍谷大学
○オープンキャンパス（龍谷大学）の開催	・龍谷大学の魅力を体験していただくため、8学部1短大が、それぞれの教育内容を紹介する。 (各学部の相談コーナー、模擬授業、現役学生による大学紹介等)			●「オープンキャンパス」の開催			龍谷大学
○立命館びわこ講座	・課題に積極的に取り組む市民の学習意欲に応えるため、大学の知的資源を活用する。			●立命館びわこ講座			立命館大学

各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○淡海生涯カレッジ	・身近なことから専門的なことまで、体系的に学習し、学んだことを地域で活用できるよう応援する。	●淡海生涯カレッジ →					滋賀県教育委員会 湖南市教育委員会 立命館大学
○オープンキャンパス（立命館大学）の開催	・立命館大学の魅力を体感してもらうため、全学部がそれぞれの教育内容や正課・課外を通じた学生の成長をリアルに伝える。	●「オープンキャンパス」の開催 →					立命館大学
○学園祭（立命館大学）	・学園祭事務局（学生）が企画し、キャンパスを開放して実施する。	●学園祭 →					立命館大学
○みなくさまつり	・草津商工会議所、各自治会、立命館大学が実行委員として取り組み、南草津駅を中心とした「新しい祭り」を創造する。	●みなくさまつり →					草津商工会議所 自治会 立命館大学
○立命の家	・子どもたちに身近な科学を通して「学び」や「ものづくりの楽しさについて教えること」をコンセプトに取り組む。	●立命の家 →					立命館大学
○生態学研究センター一般公開	・生き物の暮らし方、生態系や環境問題など、教科書に載っていない面白い課題を選び、わかりやすく紹介する。また、当センター内の森を案内し、樹木などの紹介をする。	(継続実施) →					京都大学生態学研究センター

取組の方向性【短期】		2 駐車場や路線バスの利便性向上に向けた取組の実施					実施機関
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					
		H25	H26	H27	H28	H29	
○都市公園の再整備	・都市公園駐車場の拡張について検討し再整備する。	(時期は未定) →					滋賀県

取組の方向性【短期】	3 県民や利用者にとっての安全性、快適性の向上に向けた取組の実施							
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関	
		H25	H26	H27	H28	H29		
○都市公園の再整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市公園内の移動円滑化対策を推進する。</li> <li>・都市公園施設の長寿命化対策を推進する。</li> </ul>	●計画策定	計画の実現に向けた取組 				滋賀県	
○県立精神医療センター周辺道路における歩道照明灯の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療観察病棟の建設による不安を解消し、地域の安心安全のまちづくりに資するための環境を整備する。</li> <li>歩道照明灯 183基（道路延長4,550m）県道大津能登川長浜線、県道平野草津線等</li> </ul>	●歩道照明灯の設置					県立精神医療センター	
○都市計画道路3・4・73号南大萱上田上線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅員16m、延長約1,200mの都市計画道路として整備する。（事業着手年度は平成34年度以降の予定。）</li> </ul>						大津市	

将来像	文化・芸術を創造						
	◎滋賀の風土が生まれ、守り育まれてきた滋賀の美に出会えるエリア ◎子どもから高齢者まで多様な世代が関わる文化・芸術の創造活動エリア						
取組の方向性【短期】	1 「県立近代美術館」の機能の充実・強化に向けた取組の実施						
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○新生美術館の実現	・県立近代美術館の機能・施設・設備等を見直し、「美の滋賀」の拠点となる新生美術館として再スタートする。	●新生美術館基本計画策定	基本計画の実現に向けた取り組み				滋賀県
○文化振興基本方針に基づく取組の実施	・サポーター活動の充実、幼児、家族向け展示、青少年向け文化・芸術体験プログラムの充実、芸術性の高い展覧会の開催等を実施する。	●文化振興基本方針に基づく取組の実施(平23～27年度滋賀県文化振興基本方針)					近代美術館
○龍谷ミュージアムと近代美術館との連携	・龍谷大学が設置する仏教総合博物館としての龍谷ミュージアムと県立近代美術館との相互交流等を通し、滋賀県下における仏教関係に関する展覧会などのコラボレーションを検討する。						龍谷大学 近代美術館

取組の方向性【短期】	2 文化関係施設と各施設の連携による子どもや若者の学びや成長を育む取組の実施						
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○文化ゾーン内各施設の連携事業実施	・みどりの日等に、文化ゾーン内各施設でイベントを実施する。	●イベント等の実施(継続実施)					近代美術館 県立図書館 埋蔵文化財センター 東大津高等学校 びわこ文化公園
○夏休み文化ゾーン子ども探検隊	・夏休み、文化の日の企画として各施設連携の子ども向けイベントを開催する。	●イベントの開催(平23～27年度 滋賀県文化振興基本方針)					近代美術館 県立図書館 埋蔵文化財センター 東大津高等学校 びわこ文化公園
○文化公園都市内施設との連携事業の実施	・土曜サロン等図書館事業として各施設からの情報提供(講演会等)の機会を提供する。	●講演会等実施(個別テーマによる協力依頼)(継続実施)					県立図書館
		●相乗効果のある実施方法を継続的に検討					
○実習生の受入	・大学等教育機関からの依頼に基づき県立障害者福祉センターで実習生を受け入れる。						県立障害者福祉センター

持来像	未来成長へ挑戦 ◎立地する3大学や研究機関の資源や森林など自然資源を活用した医療、健康、福祉、環境、食、新エネルギー等の研究開発エリア ◎研究開発に基づき先駆的に事業化を促進するエリア						
取組の方向性【短期】	1 各大学等の研究シーズと事業者等のニーズとの接続を促進する取組の実施						
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○知の連携プロジェクト	・大学の知的資源を活用した連携（研究、開発など）を促進する。 (H24～)	●STEP2 セミナー、実習の開催 (例：食とココロの結びつき)	●STEP3 セミナー、実習の開催 (例：障害、老い、病気とともに生きる知恵)	●より高度な相互連携へ →			滋賀県 大津市 草津市 滋賀医科大学 龍谷大学 立命館大学
○中小企業の活性化のための調査研究	・大学と連携し、中小企業政策のあり方や成功企業の分析、産業経済構造の探求など、調査研究を実施する。 (H23～)	●共同研究会の実施 →					滋賀県
○新春技術講演会（後援：近畿経済産業局、滋賀県、大津市、産業団体多数）	・有名企業、龍谷大学教員による基調講演、ポスターセッション・技術相談等を通して、最新の技術開発動向や戦略的経営研究を知る機会を提供する。（毎年、新春に開催し滋賀県下の企業や行政関係者多数が集うイベント。） (2012年度で通算23回目)	●新春技術講演会 →			(継続実施) →		龍谷大学
OREC ビジネスネットワーククラブ<REC BIZ-NET>	・BIZ-NET会員企業が取り組む新規事業や研究開発に対して、学内教員や他企業とのマッチングを行い、共同研究、業務連携を積極的に支援する。	→			(継続実施) →		龍谷大学
○産官学連携事業	・2020年の学園ビジョンのもと、リサーチオフィスが窓口となり、国・地方公共団体や産業界との研究交流を推進し、研究成果を社会に還元することを目標として実施する。	→			(継続実施) →		立命館大学

取組の方向性【短期】	2 3大学を核とした産業振興につながる研究開発に向けた取組の実施							
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関	
		H25	H26	H27	H28	H29		
○経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を採択・推進（「新規低温拡散表面書処理による高耐性アルミニウムダイカスト用金型の開発」）	・龍谷大学、滋賀県内企業3社、滋賀県工業技術総合センターの合同事業として採択されており、共同研究を実施する。（H23年度～25年度）	→					龍谷大学 滋賀県内企業3社 滋賀県工業技術総合センター	
○RECレンタルラボ事業	・大学内に貸し研究室を設け、契約期間中は各社が自由に実験機器等を持ち込めるようになっている。また、数多くの最新実験・検査機器を設備しており、必要に応じて使用することができるシステムを整え事業者のニーズに応える。	→	(継続実施)			→		龍谷大学
○インキュベータ入居者支援	・地域産業の高度化、新事業の創出・育成を図るため、中小企業基盤整備機構が立命館大学BKCに設置しているインキュベーション施設の入居者へ支援する。	●入居補助等の支援 →				→		滋賀県 大津市 草津市 立命館大学



将来像	歴史とくらしを 紡ぐ		◎脈々と守り育てられてきた豊かな緑や歴史遺産と地域の誇りを次世代に引き継ぐエリア ◎県民やNPO等が施設の維持・運営に参画する新しい公共モデルエリア				
	取組の方向性【短期】	1 歴史資源、樹林地の保存、活用の促進に向けた取組の実施					
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○龍谷大学瀬田キャンパス隣接地の利用（びわこ文化公園都市区域に隣接の龍谷大学所有の土地〈38ha〉） （再掲）	・環境教育や里山研究センターの研究フィールドとしての継続およびRECコミュニティカレッジ等における地域住民を対象とした里山の生態や保全活動等の体験学習に役立てる。	●体験学習等の実施		(継続実施)			龍谷大学

取組の方向性【短期】	2 県民、NPO等が参画する、施設や樹林地の維持・運営に向けた取組の実施							
	各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
			H25	H26	H27	H28	H29	
○都市公園ボランティア団体活動支援	・都市公園内で活動している源内峠遺跡復元委員会（遺跡の復元・活用）やNPO法人森の風音（里山保全）の活動を支援する。（指定管理者を通じ、フィールドや施設の提供等）	●活動支援						滋賀県
○施設ボランティアの育成	・社会人、高齢者のみならず近隣大学・高等学校などの若い力のボランティアを育成するための啓発広報を実施する。			(継続実施)				県立障害者福祉センター

将来像	いのちと健康を支える	◎高度・専門的な医療サービスや福祉に関する支援を安定的に提供するエリア ◎豊かな自然環境に抱かれた癒しやすらぎを五感で感じる健康・スポーツエリア					
		取組の方向性【短期】					
各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○子どもアスリート育成事業	・草津市スポーツ振興計画に基づき、子どもがスポーツを始めることや続けることのきっかけとなる事業を実施する。	●立命館大学BKCで陸上教室を実施					草津市
○草津市駅伝競走大会	・立命館大学男子陸上競技部の協力を得て、立命館大学びわこ・くさつキャンパス内にコースを設定し駅伝大会を実施する。	●立命館大学BKCで駅伝大会を実施					草津市
○チャレンジスポーツデー	・市民が気軽に親しめる事業として、各学区・地区体育振興会や市体育協会加盟団体、立命館大学の協力を得て実施する。	●立命館大学スポーツ健康科学部と連携して実施					草津市
○ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSU	・運動好きの子どもを育てる目的で、市内小学校の全6年生児童を立命館大学びわこ・くさつキャンパスに集めて実施する。	●ジュニアスポーツフェスティバルKUSATSUの実施					草津市
○薬事相談	・県民からの薬事相談への対応やQ&Aの発行、院外処方箋に係る調剤業務を実施する。	(継続実施)					滋賀県薬剤師会 (滋賀県薬学総合センター)
○大規模大会、競技会の誘致 ○各種スケート・アイスホッケー教室、交流大会の開催	・大規模大会、競技会の誘致を継続して行うとともに、各種スケート・アイスホッケー教室、交流大会を開催する。	(継続実施)					県立アイスアリーナ
○“福祉ゾーンねっとわーく”の取組	・福祉ゾーンにある医療福祉関係施設等の担当者が集まり、各施設の行事への相互協力支援、地元自治会・学区等行事への共同参加(展示ブース設営等)を行うほか、環境整備など地域課題等の解決に向けた活動を行う。	(継続実施)					障害者更生相談所 県立養護学校 県立障害者福祉センター 県立精神医療センター 県立むれやま荘 びわこ学園医療福祉センター草津 メイプル滋賀工場
○滋賀県立障害者福祉センターの利用者拡大	・障害者スポーツに関する高度な専門性を高め、利用者への公平なサービス、安全・安心・信頼の確保に努めるとともに、地域における連携を強化する。	(継続実施)					県立障害者福祉センター

各分野での取組計画	具体的な取組内容	年次計画					実施機関
		H25	H26	H27	H28	H29	
○公開講座等の実施	・滋賀医科大学が主催（共催）し、公開講座、教養講座を毎年開催する。			(継続実施)			滋賀医科大学
○「看護の日」イベントの開催	・病院の各部署紹介などのポスター展示や血圧測定、血管年齢測定などを実施する。 ・禁煙相談、がん相談、慢性疾患相談、摂食嚥下相談、小児救急等による相談や救急看護認定看護師によるAEDの実演を実施する。			●「看護の日」イベントの開催 (継続実施)			滋賀医科大学
○龍谷大学福祉フォーラム	・共生と協働をキーワードに「福祉」という切り口から社会の抱える諸問題の解決を図ることを目的として、講演会、シンポジウムを開催し、専門家との意見交換等を実施する。			(継続実施)			龍谷大学
○龍谷ジュニアキャンパス ～小学生が学びの主役～	・REC（龍谷エクステンションセンター）が主催し、小学生に学びやスポーツの楽しさを感じてもらうため「スポーツ」「自然・環境」「文化・芸術」をテーマにしたさまざまな体験型プログラムを取りそろえ、新たな自分の可能性に挑戦させる。			(継続実施)			龍谷大学
○REC（龍谷エクステンションセンター）コミュニティカレッジ	・生涯学習事業の一環として、龍谷大学の知的資源を積極的に社会に還元することを目的に約300講座を開講する。			(継続実施)			龍谷大学
○夏休み子ども理科実験・工作教室	・小学生を対象に理工学部教員による子ども向け実験と講座を実施する。			(継続実施)			龍谷大学 天津市商工会議所共催

取組の方向性【短期】		年次計画					実施機関
各分野での取組計画	具体的な取組内容	H25	H26	H27	H28	H29	
○文化ゾーン内各施設の連携事業実施	・文化ゾーン内の施設が連携、協力し、研修や防災訓練などを実施する。			●防災訓練等の実施			近代美術館 県立図書館 埋蔵文化財センター 東大津高等学校 びわこ文化公園
○広域避難場所指定	・大津市地域防災計画に基づき、びわこ文化公園を大規模地震発生時の広域避難場所として使用する。						大津市

5つの将来像の実現を支える取組	
取組の方向性【短期】	1 びわこ文化公園都市に立地する各施設が情報交換・共有、連携等を検討する場【施設連携協議会】
各分野での取組計画	具体的な取組内容
○施設連携協議会の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年度設置</li> <li>↳各施設の事業計画、連携意向の情報共有により、文化ゾーン内や福祉ゾーン内の連携のみならず、分野を超えた横断的な施設間の連携・協力を促進する。</li> </ul>
取組の方向性【短期】	2 5つの将来像の実現に向け、県、大津市、草津市が情報共有、調整等を行う場【県・市推進調整会議】
○県・市推進調整会議の運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24年度設置</li> <li>↳取組方針①ビジョンに描く5つの将来像の実現に向け、取組計画を作成・更新する。</li> <li>②ビジョン実現のための中長期的取組の検討</li> <li>③情報の共有化</li> <li>↳課題解決に向け検討する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存公共交通機関を中心とした交通アクセスの改善に向けた検討</li> <li>・地域住民やNPO、大学等との連携に向けた検討</li> </ul> </li> </ul>

# びわこ文化公園都市将来ビジョン (平成24年8月)

政策・土木交通常任委員会資料 5-3  
平成25年(2013)年3月12日(火)  
総合政策部企画調整課

## 1. びわこ文化公園都市の経緯

- 昭和54年、大津市瀬田から草津市にかけての520haを「びわこ文化公園都市構想区域」に位置づけ。
- 昭和57年、この構想を実現するため、基本計画に5つのクラスターと「緑の回廊」を位置づけ。
- 現在は、文化、芸術、医療、福祉、教育、研究、レクリエーション等に関する施設が集積するとともに、緑豊かな住宅地も形成されている。

## 2. 背景と目的

### (1) 将来ビジョン検討の背景

- 基本計画の策定から30年が経過し、びわこ文化公園都市の周辺環境や県を取り巻く社会環境が変化中、当都市の持つ高いポテンシャルを活かし、今後、滋賀の成長の核の一つになることが期待されている。

### (2) 目的

- びわこ文化公園都市に関する課題や社会的な要請を踏まえつつ、多様な施設や資源を活かして、滋賀の社会成長・経済成長に貢献する場としていくため、今後のあるべき姿や、取組みの方向性などについて明らかにする。

### (3) 検討の進め方

- 「びわこ文化公園都市将来ビジョン検討委員会」を設置し「①利用・交流人口の増大」、「②立地施設・機関の持つ機能の維持向上」、「③新しい価値の創造・発信の促進」の3つの視点から、立地25施設、地域団体へのヒアリング、県政モニターアンケートも実施しながら将来ビジョンの検討を進めた。

### (4) 対象範囲

- 対象範囲は、基本計画の対象範囲に、平成6(1994)年に開学した立命館大学びわこ・くさつキャンパスを加えた範囲とした。

## 3. びわこ文化公園都市の広域的な位置づけ

- 県内で最も人口集積が高い地域に近接。近畿圏、中京圏、北陸圏の結節点となる地域に立地

## 4. びわこ文化公園都市および周辺地域の現況

- 自然条件：古くから人々が関わってきた瀬田丘陵の自然環境が、公園等として保全されている。
- 人口等：周辺地域では、急速に人口が増加しており、現在も増加傾向が続いている。
- 土地利用：周辺地域で市街化が進行。南側は農地と集落で形成される田園地域となっている。
- 交通：高速道路、インターチェンジに隣接し、自動車による広域的な交通アクセス性が高い。公共交通によるアクセスは、JR瀬田駅、草津駅、南草津駅から路線バスが複数系統ある。
- 施設等：文化、医療、福祉、教育・研究、レクリエーション等の多様な施設が集積している。商業関連施設は、住宅地区内、大学内を除いて立地していない。

## 5. びわこ文化公園都市の強みと課題

### (1) 強み

- ①広域交通アクセスの充実と地理的優位性
- ②知的資源の集積
- ③都市近郊に立地する良好な緑地
- ④福祉・医療拠点の集積
- ⑤文化・教養拠点の集積
- ⑥産業の集積

### (2) 課題

- ①アクセス上の課題
- ②バリアフリーや安全性の課題
- ③サービス施設等の不足
- ④PRや情報発信に関する課題
- ⑤連携や交流の不足

## 6. びわこ文化公園都市を取り巻く社会動向・将来の需要

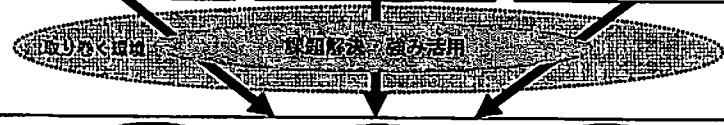
- ①人口減少と少子高齢化の進行
- ②低炭素社会づくりと再生可能エネルギーの導入・普及に関する社会的要請
- ③防災に関する対策の必要性
- ④価値観や生活スタイルの変化と「新しい公共」
- ⑤産業構造の転換と新たな産業創出への対応
- ⑥魅力ある文化の創造

## 7. びわこ文化公園都市の将来像と方向性

- 〇びわこ文化公園都市は、「土地利用」の観点からゾーニングを基に施設整備を行ってきたが、強み、課題、取り巻く社会状況等を踏まえ、次のステップとして、今後は、整備、蓄積された施設・機関が相互に機能を高め合う「機能連携」の観点へ主眼をシフトすることが必要。
- 〇この基本的な考え方に立ち、3つの検討の視点から、取り巻く社会状況や経済状況の中で、課題の解決を図りながら、強みを活かしていく目指すべき5つの将来像を設定。
- ～『土地利用』から『機能連携』へ～

<3つの検討の視点>

- ①利用・交流人口の増大
- ②立地施設・機関の持つ機能の維持向上
- ③新しい価値の創造・発信の促進



5つの将来像

交流する場	創造する場	挑戦する場	紡ぐ場	支える場
<ul style="list-style-type: none"> <li>〇子どもからお年寄りまでの県内外の人々、生徒・学生、世界の人々が集いつながるエリア</li> <li>〇施設や県民、NPO等による多彩で魅力ある取組が催されるエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇滋賀の風土が生み出し、守り育まれてきた滋賀の美に会えるエリア</li> <li>〇多様な世代が関わる文化・芸術の創造活動エリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇知的資源や自然資源を活用した医療、環境、食、新エネルギー等の研究開発エリア</li> <li>〇研究開発に基づき先駆的に事業化を促進するエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇豊かな緑や歴史遺産と地域の誇りを次世代に引き継ぐエリア</li> <li>〇県民等が施設の維持・運営に参画する新しい公共モデルエリア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇高度・専門的な医療サービスや福祉に関する支援を安定的に提供するエリア</li> <li>〇自然環境に抱かれ癒しやすさを五感で感じる健康・スポーツケアエリア</li> </ul>

<取組みの方向性>

短期	中長期	短期	中長期	短期	中長期	短期	中長期
<ul style="list-style-type: none"> <li>〇施設や資源を活かした幅広い県民の利用や参加を促進する取組の実施</li> <li>〇駐車場や路線バスの利便性向上に向けた取組の実施</li> <li>〇安全性、快適性の向上に向けた取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇地域内外のアクセス性の向上に向けた取組の検討</li> <li>〇多様な資源を活かしたツーリズムなど新たな取組の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇「県立近代美術館」の機能の充実・強化に向けた取組の実施</li> <li>〇文化関係施設と各施設の連携による子どもや若者の学びや成長を育む取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇「県立図書館」等の機能の充実・強化に向けた取組の検討</li> <li>〇滋賀らしい文化・芸術の創造・発信を促進する取組の検討</li> <li>〇次世代を育成するための取組の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇各大学等の研究シーズと事業化等のニーズとの接続を促進する取組の実施</li> <li>〇3大学を核とした産業振興につながる研究開発に向けた取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇産学官民が連携した研究成果の事業化の促進に向けた検討</li> <li>〇各施設等における新エネルギーの取組促進に向けた検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇歴史資源、樹林地の保存、活用促進に向けた取組の実施</li> <li>〇県民、NPO等が参画する、施設や樹林地の維持・運営に向けた取組の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇健康・スポーツ、医療・福祉エリアとしての安全性・快適性の向上と利活用促進に向けた取組の実施</li> <li>〇災害時における施設間連携等の促進に向けた取組の実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>〇多様な主体が参画する協働による施設等の維持・運営を進めていくための仕組み(プラットフォーム)の検討</li> <li>〇地域の資源を次世代に受け継いでいくための新たな仕組みの検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇自然環境や医療・福祉施設等を活かした心身の健康維持・増進の促進に向けた検討</li> <li>〇災害時における救護、救援、支援に関するさらなる機能の検討</li> </ul>						

### 5つの将来像の実現を支える取組み

- 短期：〇立地施設による「(仮)施設連携協議会」の設置(情報交換・共有、連携等)  
 〇将来像の実現に向けた、県、大津市、草津市による「(仮)推進調整会議」の設置(情報共有、調整等)  
 〇具体的なテーマに基づく、立地施設と地域、県民、企業等との連携を促進する取組の実施
- 中長期：〇多様な主体の連携によるまちづくりを進める全体マネジメントの仕組みの検討  
 〇地域内の低利用地、未利用地の利活用に向けた具体的な検討

## 8. 将来像の実現に向けて期待される各主体の役割

- 〇県 → 将来像実現への取組の推進・調整、施設等の安全性の向上等
- 〇市 → 将来像実現への取組の推進・調整、関連事業推進等
- 〇立地施設・大学→連携による取組の実施、周辺地域との連携推進等
- 〇企業等→施設の取組への参画・支援、産学官民連携の取組促進等
- 〇県民 → 積極的な施設利活用、施設・樹林地等の維持・運営への参画等
- 〇共通事項(関わるすべての主体) → 一他主体との連携推進、当地の魅力向上、環境の維持向上への貢献等

## 9. 将来像の実現に向けて

- 〇5つの将来像は、それぞれが独立したものではなく、多面的に相互に関連しながら、あるいは紡ぎながら展開、発展されていくイメージ。
- 〇実現に向けては、県や大津市、草津市、立地25施設、周辺の地域、県民、企業、団体など幅広い主体が関わり、連携、協力しながら、努力を重ねていくことが必要。